



# 横浜訓盲学院 だより

第33号 (2015年3月号)

2015年2月26日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

事務部

TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627  
E-mail : jimukunmou.jp

普通部

TEL/FAX:045-662-1710  
E-mail : futsuukunmou.jp

理療科

TEL/FAX:045-662-1833  
E-mail : riryokunmou.jp



## 盲学校と手話

学院長 中澤 恵江

タイトルをご覧になったときに、「聾学校と手話のまちがいで？」と思われた方もいらしたのではないかと思います。でも、まちがいはありません。本学院普通部では、今年度より隔週で手話の講師を招いて、教員への手話研修を行っています。その理由は、本学院の普通部に聴覚障害を有する幼児児童生徒が在籍しており、その中の数名については、手話がコミュニケーションとして有効であり必要だと保護者も学院も考えているからです。

学院の教育目標の大切な一つとして、「一人一人に適したコミュニケーション方法を学べるようにする」ことが挙げられています。しかし残念ながら、盲学校には手話という言語を理解し、それを自由に操れる教員が基本的にいません。これまでは、担当となった教員が手話を自主的に学ぶことで対応していました。しかし、それでは「コミュニティ」である学院でのコミュニケーションにはなっていないと思います。各担当の努力はこれからも継続してもらいつつ、学院の教員全体が徐々に手話という言語を学び、手話を必要とする子どもたちと教員の誰もがまずは基礎的な会話ができるようになることを目指し、研修を開始しました。

素晴らしい講師に恵まれ、研修は楽しく進んでいます。空間を駆使する手話言語を学ぶ障壁は、私たちに深く根を張っている「音声言語」の構造です。また、盲学校では少々恥ずかしく感じてしまうほどの、顔と体の大きな動きを通じた感情の伝達です。そのとまどい自体が、深い気付きと学びになっていると感じています。

手話については、県という大きな「コミュニティ」で昨年の12月に画期的な条例が成立しました。神奈川県手話言語条例です。学院では、これからも息長くこの研修を続け、幼児児童生徒とのコミュニケーションに活かしていきたいと思っています。



「どんなことにも感謝しなさい。」

テサロニケの信徒への手紙(1)5章18節前半

《3月の聖句》感謝する者は、思いやれる人です。

## サウンドテーブルテニス(STT)

12月13日(土)に神奈川県ライトセンターで神奈川県内の盲学校の生徒たちが集まり、サウンドテーブルテニス大会が実施されました。

本校からは普通部の生徒6名がエンジョイルール部に参加しました。今年度は校内で予選会を行い、勝ち抜いて選ばれた生徒が学校代表として試合を行いました。1試合を7分で行い、ラリーが3分以上続く試合や試合終了時間まで点数が均衡する試合がたくさんあり、白熱した戦いを繰り広げました。



結果は平塚盲学校の生徒が4連覇の優勝、訓盲学院高等部普通科の生徒が準優勝でした。

今年でサウンドテーブルテニス大会への出場は4年目となりますが、生徒各自がルールを良く理解しており、勝ち方にこだわった戦いを見せてくれました。慎重に方向を定め、丁寧にレシーブする生徒やリスクを恐れずに強烈なサーブを打つ生徒等、生徒それぞれの練習の成果を発揮することができました。応援に来て下さった方々ありがとうございました。



## クリスマス礼拝・祝会

12月20日(土)にクリスマス礼拝・祝会が行われました。

礼拝では古旗牧師のお話を聞き、クリスマスの賛美歌を理療科の生徒たちが演奏するトーンチャイムにのせてみんなで賛美しました。

祝会では高等部専攻科生活科による劇『ページェント』から始まり、幼小グループによる劇『白雪姫とゆかいな仲間たち』、小中グループによる劇『はらぺこあおむし〜冬の寒さに負けないぞ〜』、高等部普通科による劇『Let it go.〜普通科のみんなで〜』が行われました。各グループの幼児児童生徒のそれぞれが練習の成果を発揮することができ、見に来ていただいた方々から大きな拍手、絶賛の声、たくさんの笑顔をいただきました。たくさんの方々にご来校いただき、また保護者の方々には準備段階からご協力いただきまして、ありがとうございました。



## 視覚障害



## 遮光眼鏡(しゃこうがんきょう)

視覚障害の方の多くは、羞明(しゅうめい)と呼ばれるまぶしさを感じています。これは、水晶体の濁りが光を散乱することによって起こる症状です。通常では何ともない明るさが異常に眩しく感じられ、時には眼を開けていられないほど強く感じられることもあります。

まぶしさを軽減するための工夫として、遮光眼鏡があります。これは、網膜や角膜、水晶体に大きな影響を与える短波長の光を有効にカットする医療用フィルターレンズです。光量全体を抑えるサングラスと異なり、暗く感じてしまうことなくまぶしさを軽減することができます。さらに、コントラストが向上しますので、よりはっきりと見やすくなります。

遮光眼鏡を購入するときは、レンズによりカットする波長の範囲が異なりますので、見え方や用途を考えて自分にあったものを選ぶとよいでしょう。また、遮光眼鏡は視覚障害の補装具として補助の対象になります。眼科で相談してみてください。



## 成人を祝う会

1月21日(水)に今年度、高等部専攻科生活科在籍で20歳を迎えた生徒をお祝いするために『成人を祝う会』が普通部多目的室で行われました。式次第では、訓盲学院に入学してから現在に至るまでの様子をスライドショーで発表しました。保護者、当時の担任の先生や学院長からコメントをいただき、それに受け答えをしながらスライドショーを眺めていました。また、高等部普通科の時に担任をされて現在は退職された先生からも音声コメントをいただき、とても感動した様子でした。そして、挨拶の際にはしっかりと自分のことばで感謝の気持ちを発表でき、成長した姿を垣間見ることができました。

昼食は生活科棟でお祝いの松花堂弁当を食べ、友だちと一緒に団らんを楽しみました。午後に行われた茶話会では、友だちのピアノ演奏と歌のプレゼントを聞きながら、楽しい成人を祝う会を送ることができました。



## 学校開放「お餅つき」



1月24日(土)、横浜訓盲学院の新年の恒例行事である「お餅つき」が行われました。

参加された近隣の住民の皆様と一緒に、大きな掛け声と共に餅をつきました。

今年もお餅の他に、温かい豚汁、甘酒、ホットレモネードなどを用意しました。大福作り体験コーナーもあり、参加された方々には喜んでいただけたと思います。

毎年、大勢の方々に参加して頂き、また、関係各所より寄贈品やご支援をいただき、横浜訓盲学院職員一同、心から御礼を申し上げます。

平成26年度の学校開放は、フルーツコンサート、移動動物園、お餅つきでした。次年度も近隣の住民の皆様との交流の場として学校開放を楽しみたいと思います。来年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 思うツボ

### 顎(がく)関節症

春になると気候や環境が大きく変化します。私たちの体も無意識に環境に対応しようと頑張ってしまう、体の不調が出てくる方も多いのではないのでしょうか。顎関節症も季節の変わり目に出やすい病気の一つです。

顎関節症の3大症状は「あごが痛む」「口が開かない(開口障害)」「あごを動かすと音がする(顎関節雑音)」です。思い当たる症状がある方も多いのではないのでしょうか?

原因は噛み合わせやストレスによる歯ぎしり、寒さによる筋の緊張、そして頬杖をついたりすることも挙げられます。

もし症状が気になるようでしたら、顎関節症に効くとされている『下関(げかん)』を温めながらマッサージしてください。下関はもみあげの前で口を閉じた時に深くくぼみ、口を開けた時にくぼみがなくなる場所です。

また、あご周りの緊張は肩こりの原因にもなります。あごのマッサージで肩こりが楽になることもありますので、顎関節の治療も加えてみると思わぬ効果があるかもしれません。

◆◆◆◆◆ P T A バ ザ ー ◆◆◆◆◆

11月15日(土)にPTAバザーを開催しました。

当日はとても良い天候に恵まれ、多くの方々にご来場いただきました。

理療科では毎年恒例のクイックマッサージが盛況だったことはもちろん、輪投げゲームにもたくさんのお子さんが集まり、楽しそうな声が響いていました。普通部前庭では、普通部の幼児児童生徒たちが授業で作った小物や食べ物それぞれのブースで販売し、お客さまと心温まるコミュニケーションを取ることができました。各ブースでは保護者のみなさんが仕込んだフランクフルトや炊き込みご飯、作業所「つぼみ」・「わくわくわーく」さんの各制作作品、フラワーショップタチバナさんのきれいなお花が飾られ、会場がより賑やかになりました。講堂での雑貨販売にもたくさんの方々足を運んでいただきました。ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



◎国家試験◎

今年も2月21日(土)・22日(日)の2日間にわたり、あん摩マッサージ指圧師・はり師・灸師の国家試験が行われます。国家試験になって、今回で23回目になります。

問題数は、150~160問で、60%以上の得点で合格となります。受験生は大変ですが、3年間の集大成です。

頑張ってくださいと思います。今回は、21日に3名・22日に4名、それぞれ受験します。

合格発表は、3月27日(金)です。受験生全員に「さくら」が咲くことを祈ります。



《今後の行事予定》

- 3月 6日(金) 防災訓練
- 16日(月) 普通部卒業おめでとう会
- 18日(水) 理療科生徒会送別会
- 20日(金) 平成26年度卒業式・修了式
- 23日(月)~春休み
- 4月 1日(水) 理療科新入生オリエンテーション
- 8日(水) 平成27年度入学式・始業式

《平成27年度生徒募集》

- ◎募集定員(各部若干名)
- 【普通部】 幼稚部・小学部・中学部  
高等部普通科・専攻科生活科
- 【理療科】 高等部専攻科保健理療科  
高等部専攻科理療科
- ◎募集期間《二次募集》  
普通部、理療科ともに3月6日(金)まで随時
- ◎お問い合わせ  
普通部 TEL.045-662-1710  
理療科 TEL.045-662-1833

院外臨床実習のご案内



院外臨床実習とは、学院臨床室以外の場所で生徒たちがおこなう実習です。日頃の感謝の気持ちを込めて、毎年、学院周辺の町内会館にてマッサージを行っています。

是非ご利用下さい。

平成27年

- 3月 9日(月) 鷺山竹之丸会館
- 10日(火) 豆口台上町会館
- 11日(水) 柏葉町内会館
- 12日(木) 麦田地域ケアプラザ
- 13日(金) 大和町町内会館

時間 9時30分~11時30分 料金 無料

◆お問い合わせ先◆  
各町内会まで

一ご協力の一  
(平成27年度 賛助会員)

私どもの視覚障害教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしくお願い申し上げます。

- 【年会費】 団体会員(1口)10,000円/個人会員(1口)1,000円(口数は問いません)
- 【お支払い方法】 ・郵便振替[加入者名]学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)  
・現金
- 【その他】 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。
- 【免税措置】 ・会費は寄付金として扱われ、横浜訓盲学院より領収書が発行されます。  
・当校は特定公益増進法人の認可を受けておりますので、法人の場合は、一般の寄付金とは別枠で免税会計処理ができます。  
・個人の場合は、2,000円を超える金額に対して免税されます。
- 【お問合せ先】 横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626